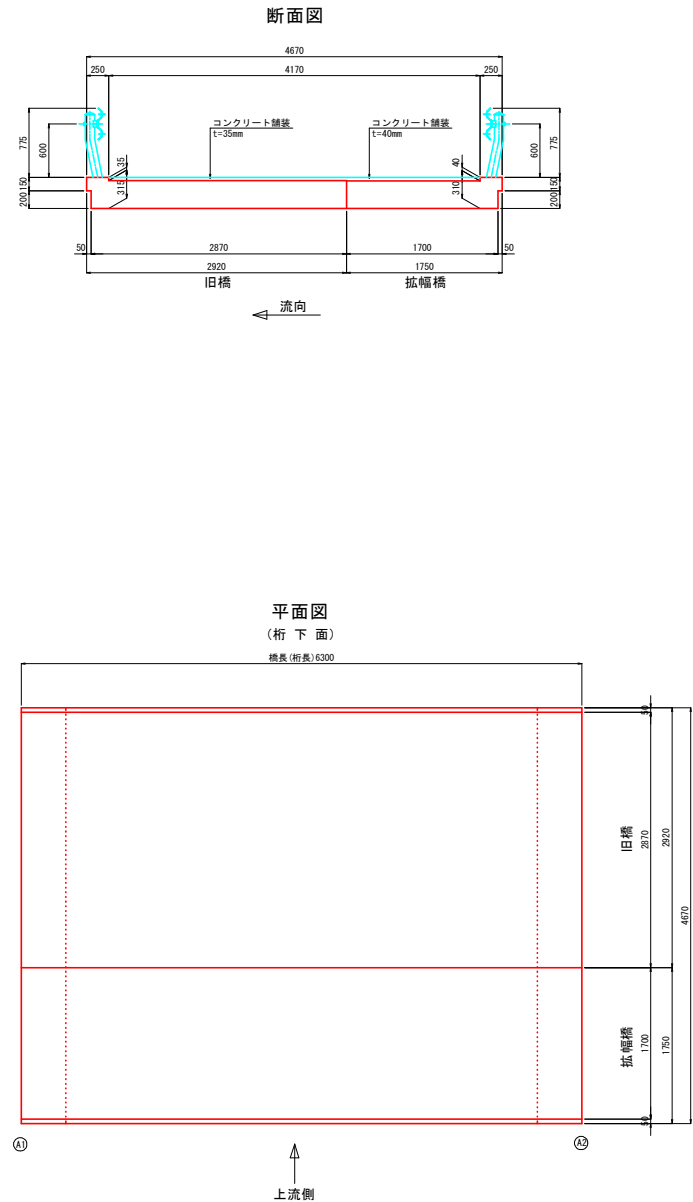
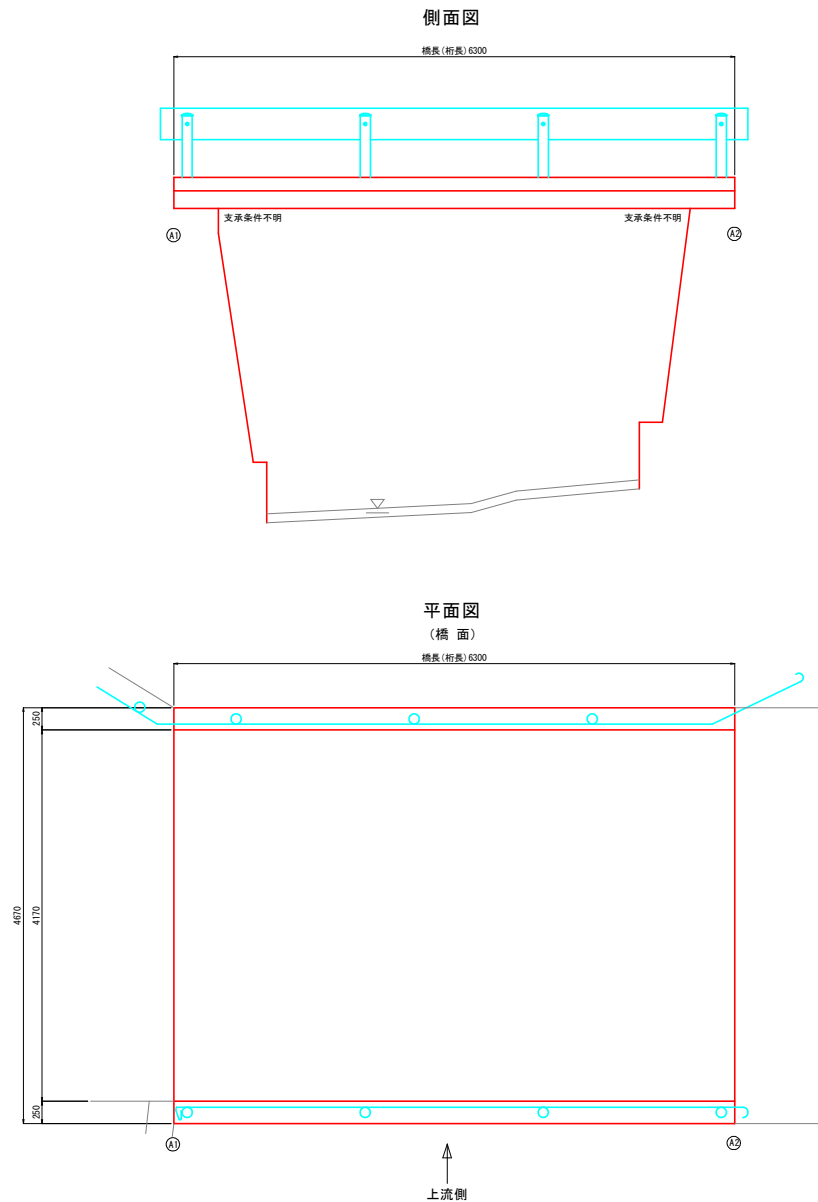


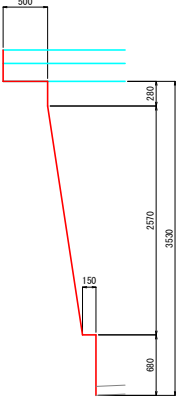
鍮畑橋 現況一般図（その1） S=1:30  
上部工



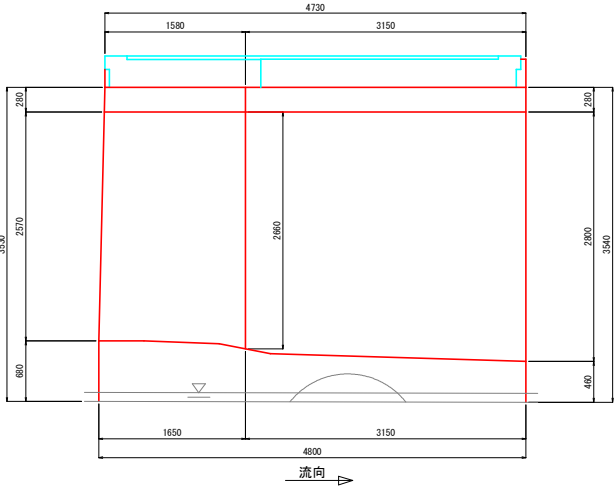
工事名	鍮畑橋橋梁補修工事		
図面名	鍮畑橋 現況一般図（その1）		
作成年月日	令和 5年 2月		
縮尺	図示	図面番号	1/23
会社名			
事業者名	福岡県 みやこ町 都市整備課		

燈畑橋 現況一般図（その2）
 S=1:30
 A 1・A 2 橋台部

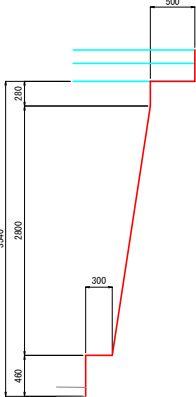
A1側面図  
 上流側



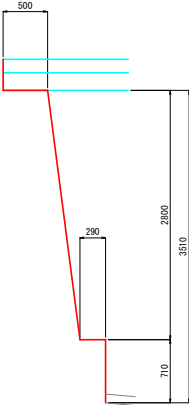
A1正面図



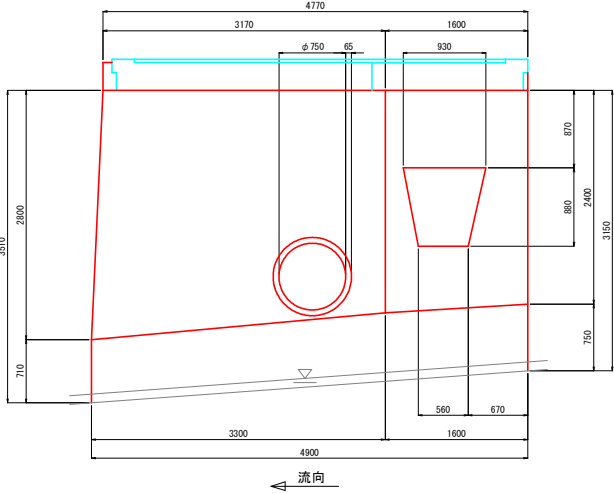
A1側面図  
 下流側



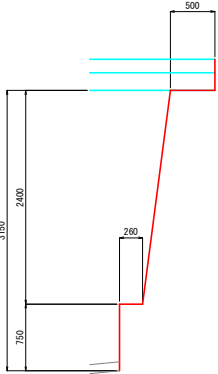
A2側面図  
 下流側



A2正面図



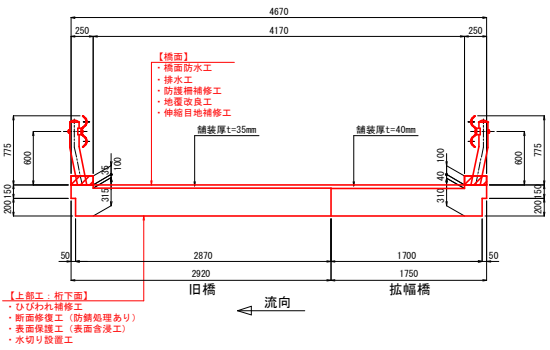
A2側面図  
 上流側



工事名	燈畑橋橋梁補修工事		
図面名	燈畑橋 現況一般図（その2）		
作成年月日	令和 5 年 2 月		
縮尺	図示	図面番号	2 / 2.3
会社名			
事業者名	福岡県 みやこ町 都市整備課		

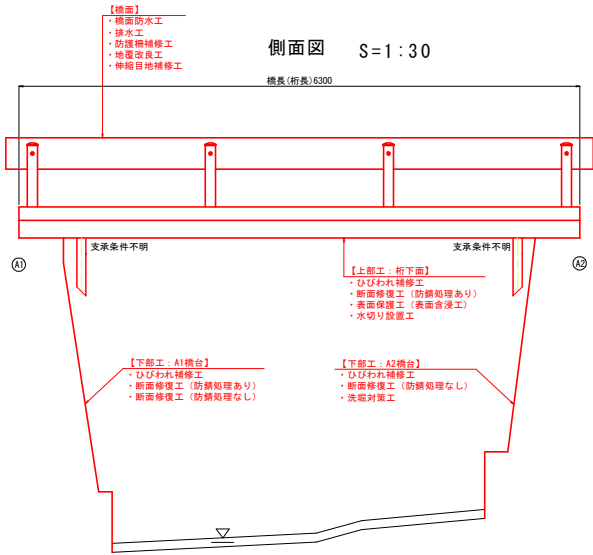
燈畑橋 補修一般図

断面図 S=1:30

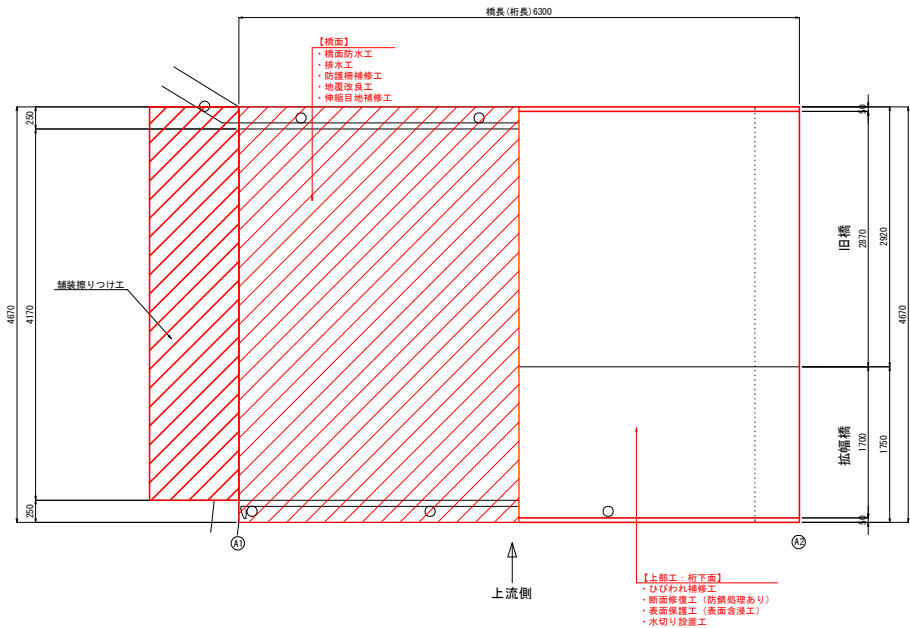


補修工程	補修材料	単位	数量
ひびわれ充填工	シーラント系	m	3.50
断面修復工 (防錆処理なし)	ポリマーセメントモルタル	m3	0.031
断面修復工 (防錆処理あり)	ポリマーセメントモルタル	m3	0.747
表面含浸工	道路用フェノール樹脂	m2	29.3
洗掃対策工	無収縮モルタル	m3	0.090
橋面防水工	塗膜系	m2	26.3
排水工	排水ます (SUS製目面)	箇所	4
補修工	密着度アスコン (13) t=30mm	m2	26.3
補修盛りつけ工	高強度化アスファルト乳化剤混合骨	m2	4.4
防護柵補修工	塗装え塗装 (R=IV系)	m2	12.4
地盤改良工	コンクリート	m3	0.315
水切り設置工	EPDM系ゴム水切り装置	m	10.6
伸縮目地補修工	ゴム化取替工法	m	9.7
仮設工	吊足場	m2	29.4

側面図 S=1:30



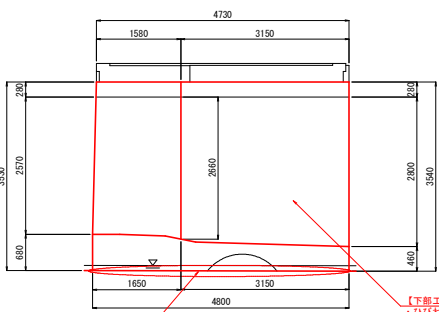
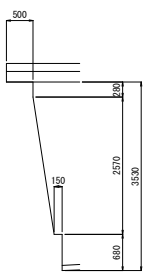
平面図 S=1:30



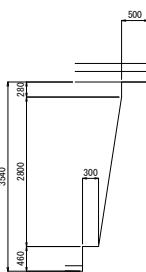
下部工図 S=1:50

A1橋台 正面

A1側面図 上流側

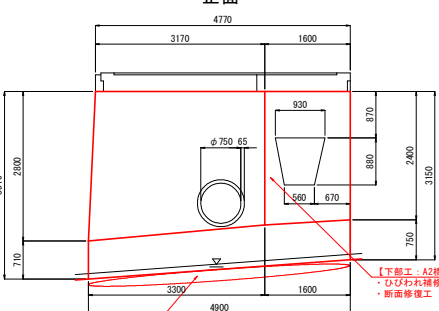
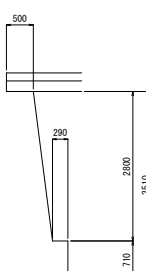


A1側面図 下流側

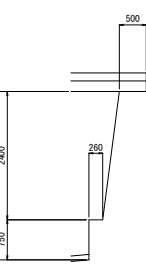


A2橋台 正面

A2側面図 下流側



A2側面図 上流側

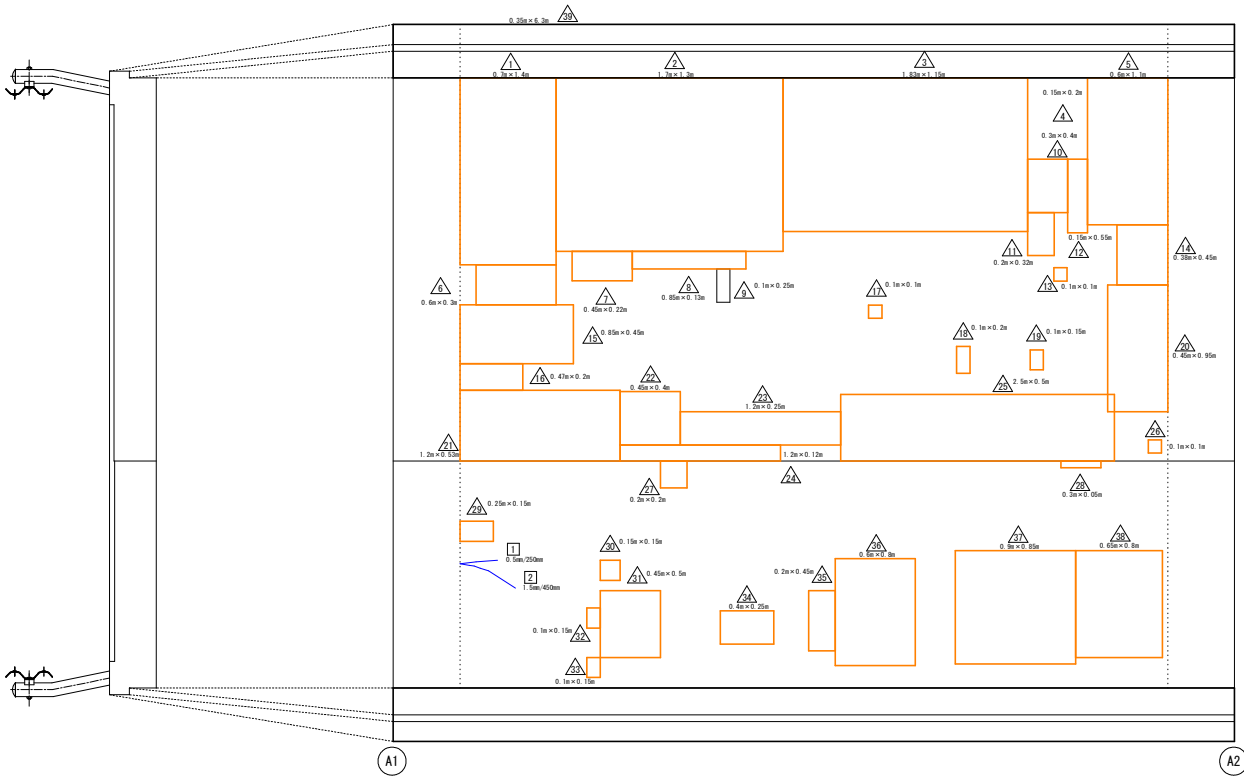


工事名	燈畑橋橋梁補修工事
図面名	燈畑橋 補修一般図
作成年月日	令和 5年 2月
縮尺	図示 図面番号 3/23
会社名	
事業名	福岡県 みやこ町 都市整備課

燈畑橋 コンクリート補修図（その1）

平面図 S=1:20

桁下面



補修凡例		
損傷の種類	補修種別	表 示
ひびわれ	0.2mm以上 0.5mm未満	ひびわれ注入工
	0.5mm以上	ひびわれ充填工
その他	断面修復工 (左官工法)	

□ は、ひびわれ番号 (w=0.2mm以上)  
△ は、断面修復を要する損傷番号

(桁下面)

ひびわれ集計表

番号	0.2mm~0.5mm未満		0.5mm~1.0mm未満		1.0mm以上	
	寸法 (mm)	延長 (mm)	寸法 (mm)	延長 (mm)	寸法 (mm)	延長 (mm)
1	—	—	—	250	—	—
2	—	—	—	—	1.50	450
合計	—	—	—	0.25m	—	0.45m

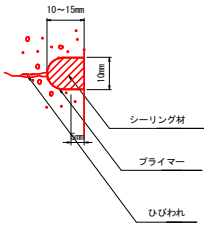
断面修復を要する損傷集計表

番号	寸法 (m)	面積 (m <sup>2</sup> )	損傷
1	0.70 × 1.40	0.980	うき・鉄筋露出
2	1.70 × 1.30	2.210	うき・鉄筋露出
3	1.83 × 1.15	2.105	うき・鉄筋露出
4	0.15 × 0.20	0.030	鉄筋露出・うき
5	0.60 × 1.10	0.660	うき・鉄筋露出
6	0.60 × 0.30	0.180	うき
7	0.45 × 0.22	0.099	うき
8	0.85 × 0.13	0.111	うき
9	0.10 × 0.25	0.025	うき・鉄筋露出
10	0.30 × 0.40	0.120	うき
11	0.20 × 0.32	0.064	うき・鉄筋露出
12	0.15 × 0.55	0.083	うき・鉄筋露出
13	0.10 × 0.10	0.010	鉄筋露出
14	0.38 × 0.45	0.171	うき
15	0.85 × 0.45	0.383	鉄筋露出・うき
16	0.47 × 0.20	0.094	うき・鉄筋露出
17	0.10 × 0.10	0.010	鉄筋露出・うき
18	0.10 × 0.20	0.020	鉄筋露出・うき
19	0.10 × 0.15	0.015	鉄筋露出・うき
20	0.45 × 0.95	0.428	うき・鉄筋露出
21	1.20 × 0.53	0.636	鉄筋露出・うき
22	0.45 × 0.40	0.180	うき・鉄筋露出
23	1.20 × 0.25	0.300	うき・鉄筋露出
24	1.20 × 0.12	0.144	欠損
25	2.50 × 0.50	1.250	うき・鉄筋露出
26	0.10 × 0.10	0.010	欠損
27	0.20 × 0.20	0.040	うき
28	0.30 × 0.05	0.015	うき
29	0.25 × 0.15	0.038	うき
30	0.15 × 0.15	0.023	うき
31	0.45 × 0.50	0.225	うき
32	0.10 × 0.15	0.015	うき
33	0.10 × 0.15	0.015	うき
34	0.40 × 0.25	0.100	うき
35	0.20 × 0.45	0.090	うき
36	0.60 × 0.80	0.480	うき
37	0.90 × 0.85	0.765	うき
38	0.65 × 0.80	0.520	うき
39	0.35 × 6.30	2.205	劣化・欠損
合計		14.849m <sup>2</sup>	

※施工にあたっては現地再測のこと。

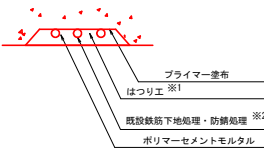
ひびわれ充填工

(シーラント系)



断面修復工 (左官工法) 詳細図

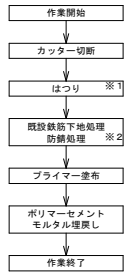
鉄筋下地処理・防錆処理を含む  
(ポリマーセメントモルタル)



※1：はつり箇所の端部は、10mm程度の cutter 目地を入れ、  
フェザーエッジを回避すること。

※2：はつり時鉄筋が露出した場合には防錆処理を行うこと。

断面修復工施工手順



工事名	燈畑橋橋梁補修工事		
図面名	燈畑橋 コンクリート補修図 (その1)		
作成年月日	令和 5 年 2 月		
縮尺	図示	図面番号	4/23
会社名			
事業者名	福岡県 みやこ町 都市整備課		

燈畑橋 コンクリート補修図（その2）

正面図、平面図 S=1:30

A1橋台

正面

側面図  
起点より左側

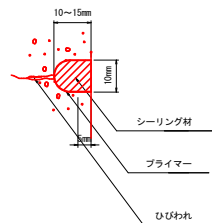
側面図  
起点より右側

補修凡例

損傷の種類	補修種別	表 示
ひびわれ 0.2mm以上 0.5mm未満	ひびわれ注入工	
ひびわれ 0.5mm以上	ひびわれ充填工	
その他	断面修復工 (左官工法)	

□ は、ひびわれ番号 (w=0.2mm以上)  
△ は、断面修復を要する損傷番号

ひびわれ充填工  
(シーラント系)



(A1橋台)

ひびわれ集計表

番号	0.2mm~0.5mm未満		0.5mm~1.0mm未満		1.0mm以上	
	巾(mm)	延長(mm)	巾(mm)	延長(mm)	巾(mm)	延長(mm)
1	—	—	—	—	1.00	1100
2	—	—	—	—	1.00	450
3	—	—	—	—	1.00	700
4	—	—	—	—	1.60	250
合計	—	—	—	—	—	2,500

断面修復を要する損傷集計表

番号	寸法 (m)	面積 (m2)	損傷
1	0.10 × 0.20	0.020	鉄筋露出
2	0.10 × 0.20	0.020	鉄筋露出
3	0.10 × 0.20	0.020	鉄筋露出
4	0.70 × 0.30	0.210	欠損
5	0.70 × 0.30	0.210	欠損
6	0.70 × 0.20	0.140	うき
7	0.34 × 0.23	0.078	うき
8	0.15 × 0.20	0.030	鉄筋露出
合計		0.728m2	

洗掘対策工数量表

名 称	仕様	単位	数 量	備 考
無収縮モルタル		m3	0.033	
型枠工		m2	0.19	

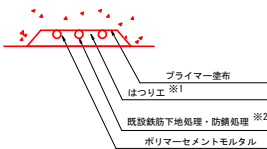
仮設工数量表

名 称	仕様	単位	数 量	備 考
土のう工		袋	62	
仮締切・排水工		箇所	1	

※橋梁補修工事時は、土のうにより上下流河床面を締切りし排水し、橋梁補修を実施する事を計画した。  
施工前に現地確認を行い仮設計画を立案し、河川管理者と協議のうえ作業計画を決定すること。

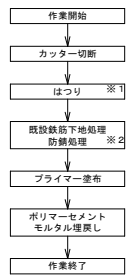
断面修復工(左官工法)詳細図

鉄筋下地処理・防錆処理を含む  
(ポリマーセメントモルタル)



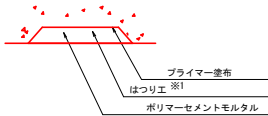
※1：はつり箇所の端部は、10mm程度のカッター目地を入れ、フェザーエッジを回避すること。  
※2：はつり時鉄筋が露出した場合には防錆処理を行うこと。

断面修復工施工手順



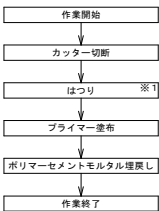
断面修復工(左官工法)詳細図

鉄筋下地処理・防錆処理を含まない  
(ポリマーセメントモルタル)



※1：はつり箇所の端部は、10mm程度のカッター目地を入れ、フェザーエッジを回避すること。

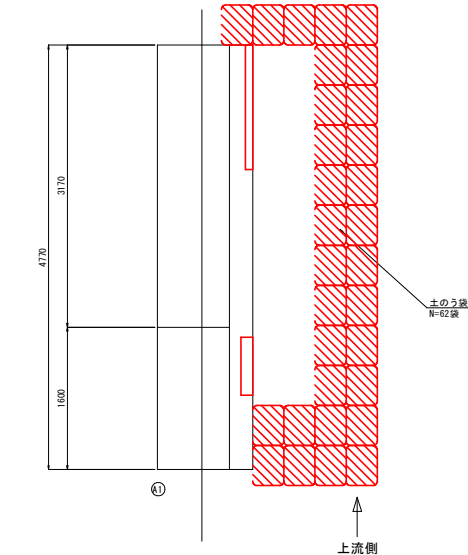
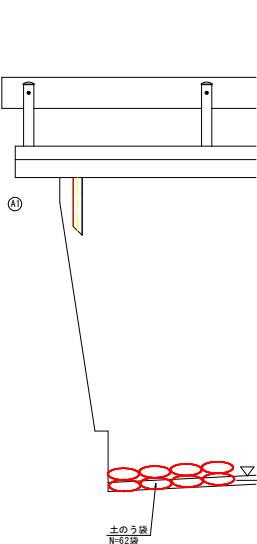
断面修復工施工手順



洗掘対策工施工参考図 S=1:30

平面図

側面図



工事名	燈畑橋橋梁補修工事
図面名	燈畑橋 コンクリート補修図（その2）
作成年月日	令和 5年 2月
縮尺	図示 図面番号 5/23
会社名	
事業名	福岡県 みやこ町 都市整備課

燈畑橋 コンクリート補修図（その3）

平 面 図 S=1:30

A 2 橋 台

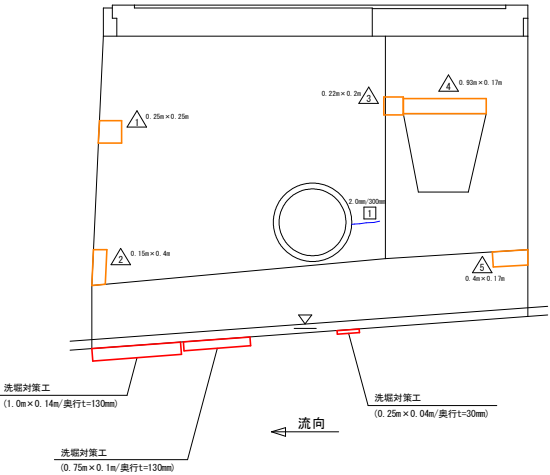
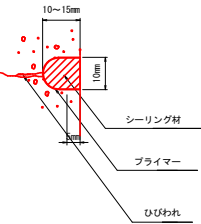
側面図  
起点より左側

側面図  
起点より右側

補修凡例		
損傷の種類	補修種別	表 示
ひびわれ	0.2mm以上 0.5mm未満	ひびわれ注入工
	0.5mm以上	ひびわれ充填工
そ の 他	断面修復工 (左官工法)	

□ は、ひびわれ番号 (w=0.2mm以上)  
△ は、断面修復を要する損傷番号

ひびわれ充填工  
(シーラント系)



(A 2 橋 台)

ひびわれ集計表

番号	0.2mm~0.5mm未満 (巾(mm))	延長(mm)	0.5mm~1.0mm未満 (巾(mm))	延長(mm)	1.0mm以上 (巾(mm))	延長(mm)
1	—	—	—	—	2.00	300
合計	—	—	—	—	—	0.30m

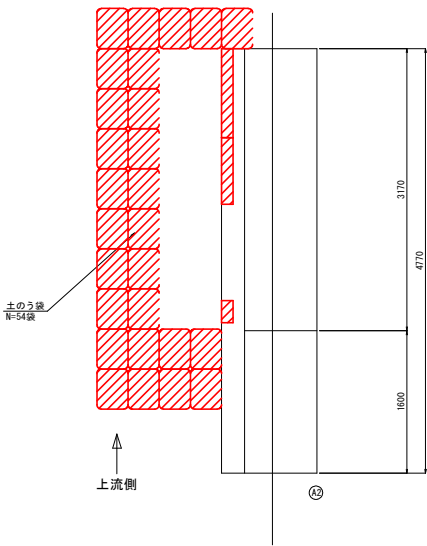
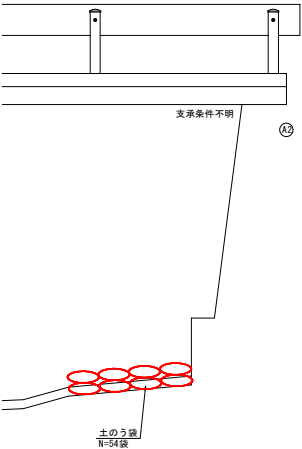
断面修復を要する損傷集計表

番号	寸法 (m)	面積 (m2)	損傷
1	0.25 × 0.25	0.063	欠損
2	0.15 × 0.40	0.060	欠損
3	0.22 × 0.20	0.044	欠損
4	0.93 × 0.17	0.158	欠損
5	0.40 × 0.17	0.068	欠損
合計		0.393m2	

洗掘対策工施工参考図 S=1:30

側面図

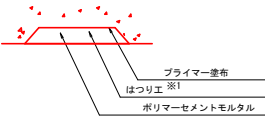
平面図



断面修復工(左官工法)詳細図

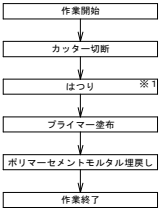
鉄筋下地処理・防錆処理を含まない

(ポリマーセメントモルタル)



※1： はつり箇所の端部は、10mm程度の cutter 目地を入れ、  
フェザーエッジを回避すること。

断面修復工施工手順



洗掘対策工数量表

名 称	仕様	単位	数 量	備 考
無収縮モルタル		m3	0.057	
型枠工		m2	0.23	

仮設工数量表

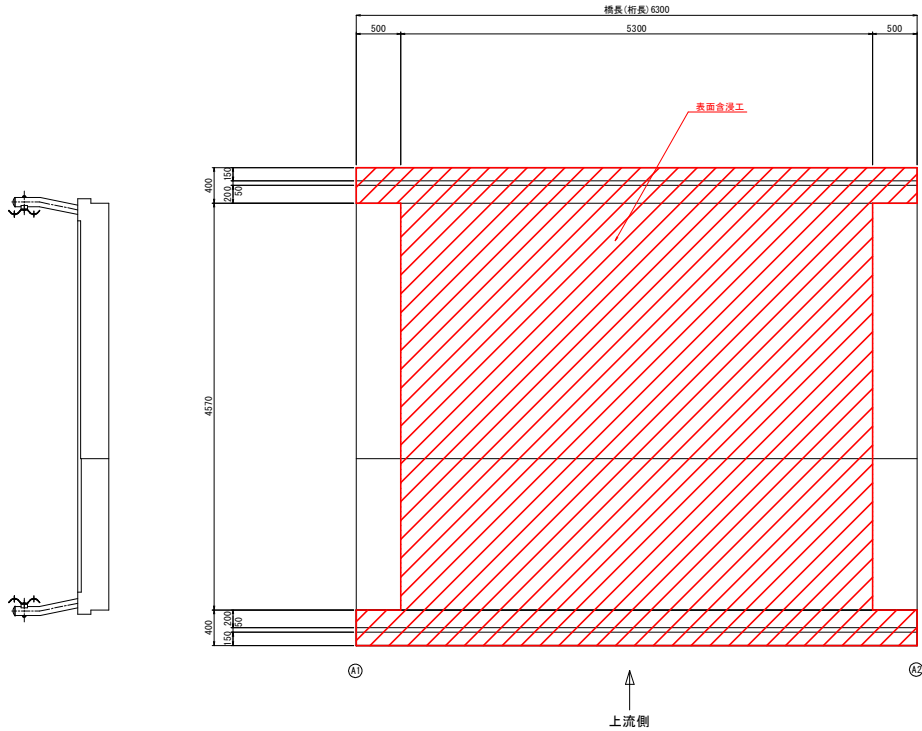
名 称	仕様	単位	数 量	備 考
土のう工		袋	54	
仮締切・排水工		箇所	1	

※橋梁補修工事時は、土のうにより上下流河床面を締切りし排水し  
橋梁補修を実施する事を計画した。  
施工前に現地確認を行い仮設計画を立案し  
河川管理者と協議のうえ作業計画を決定すること。

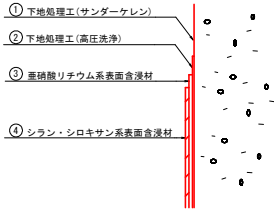
工事名	燈畑橋橋梁補修工事		
図面名	燈畑橋 コンクリート補修図（その3）		
作成年月日	令和 5年 2月		
縮尺	図示	図面番号	6/23
会社名			
事業者名	福岡県 みやこ町 都市整備課		

鍔煙橋 コンクリート補修図（その4）

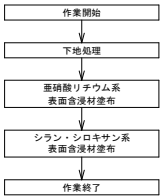
平面図 S=1:30  
表面含浸工（桁下面）



表面含浸工詳細図  
（亜硝酸リチウム併用型シランシロキサン系含浸材）

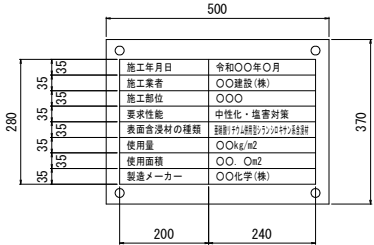


表面含浸工施工手順

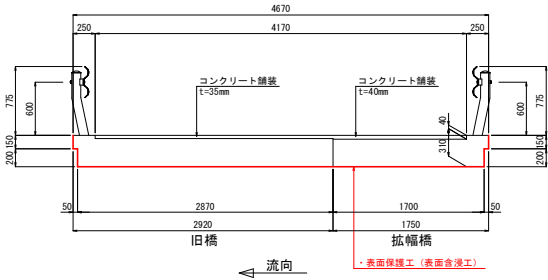


塗歴板参考図 S=1: 6 (A1)  
S=1:12 (A3)

表面含浸工



断面図 S=1:30



表面含浸工数量表（亜硝酸リチウム併用型シランシロキサン系含浸材）

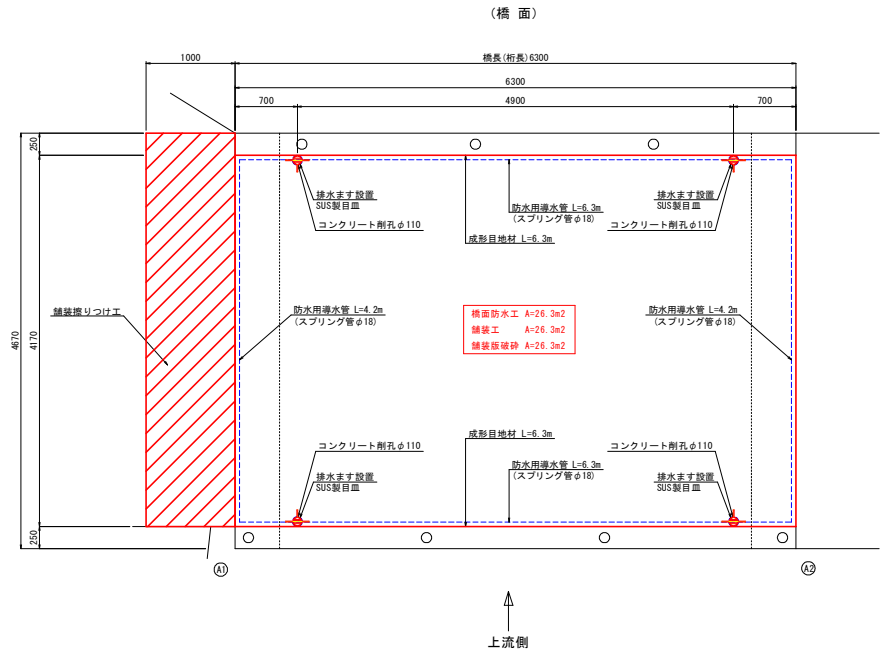
補修項目	仕様	単位	数量	備考
下地処理		m2	29.26	桁下面
含浸材塗布	亜硝酸リチウム併用型シランシロキサン系含浸材	m2	29.26	桁下面

※施工にあたっては現地再測のこと。

工事名	鍔煙橋橋梁補修工事		
図面名	鍔煙橋 コンクリート補修図（その4）		
作成年月日	令和 5 年 2 月		
縮尺	図示	図面番号	7/23
会社名			
事業者名	福岡県 みやこ町 都市整備課		

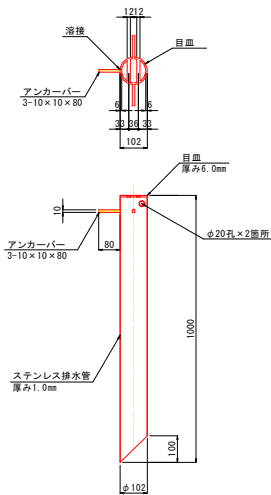
燈焔橋 橋面改良工（防水工）詳細図

平面図 S=1:30

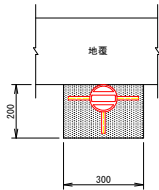


排水ます詳細図 S=1:10

目皿排水管一体仕様



平面図

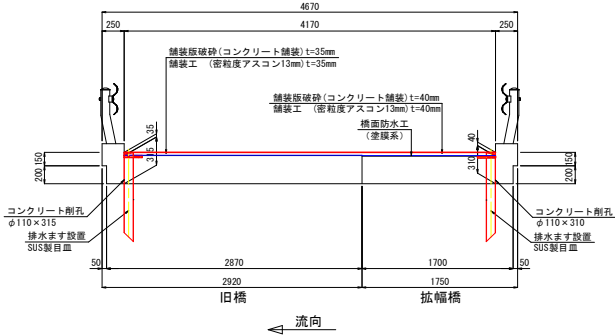


床版を切削し、排水装置設置後、  
ポリマーセメントモルタルで復旧

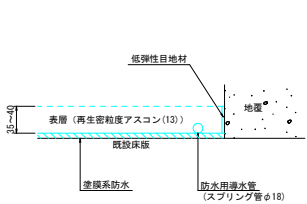
1組当り

< 材料表 >					
部 品 名 称	材 質	寸 法	数 量	重 量	備 考
目皿	SUS304	φ102×6	1	0.2	
排水管	SUS304	φ102×1	1	2.4	
アンカー	SUS304	10×10×80	3	0.2	
合 計 重 量				2.8 kg	

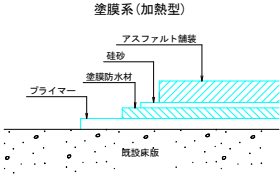
断面図 S=1:30



橋面端部処理詳細図 S=1:5



橋面防水工



数量表

補修項目	仕様	単 位	数 量	備 考
橋面防水工	塗膜系防水	m <sup>2</sup>	26.3	
導水管	φ18	m	21.0	
成形目地材	b=30, t=5	m	12.6	
排水ます	SUS製目皿	組	4	
コンクリート削孔	φ110×315(310)	箇所	4	

数量表

補修項目	仕様	単 位	数 量	備 考
舗装版破砕	コンクリート舗装 t=35mm~40mm	m <sup>2</sup>	26.3	
舗装工	表層(密粒度アスコン13mm t=35, 40mm)	m <sup>2</sup>	26.3	
舗装すりつけ工	常温硬化型アスファルト乳化石混合物	m <sup>2</sup>	4.4	

※既設舗装を切削する際は鉄筋探索を行い、内部鉄筋の位置を把握したうえで、割き取りを行うこと。  
(内部鉄筋に干渉しないように注意すること)  
※施工にあたっては現地再測のこと。

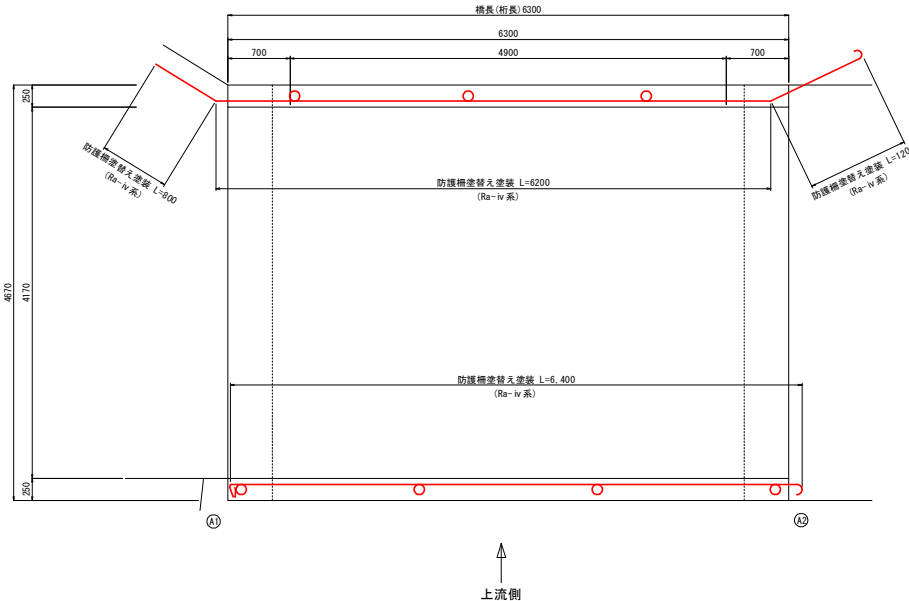
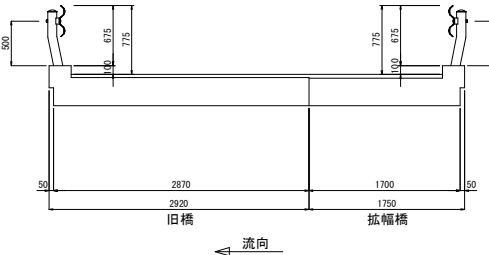
工事名	燈焔橋橋梁補修工事		
図面名	燈焔橋 橋面改良工（防水工）詳細図		
作成年月日	令和 5 年 2 月		
縮尺	図示	図面番号	8/23
会社名			
事業者名	福岡県 みやこ町 都市整備課		



## 燈畑橋 防護柵補修工図

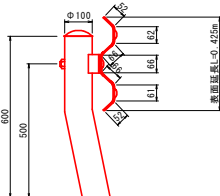
平面图 S=1 : 30

(橋 面)

断面図  $S=1:30$ 

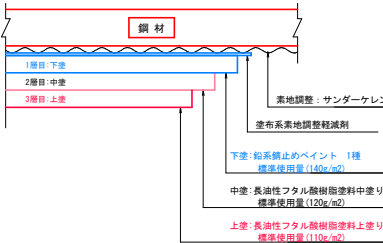
塗装仕様詳細

防護柵塗装工 S=1:10



( 4種Aケレン )

はけ、ローラ



※ 付着塩分が、50mg/m<sup>2</sup>以上の場合は、素地調整工前に水洗い工を行う

## 数量表

補修項目	仕様	単位	数量	備考
塗装塗替え工	4種Aケレン・道路付属構造物塗替	m2	12.4	防護柵類

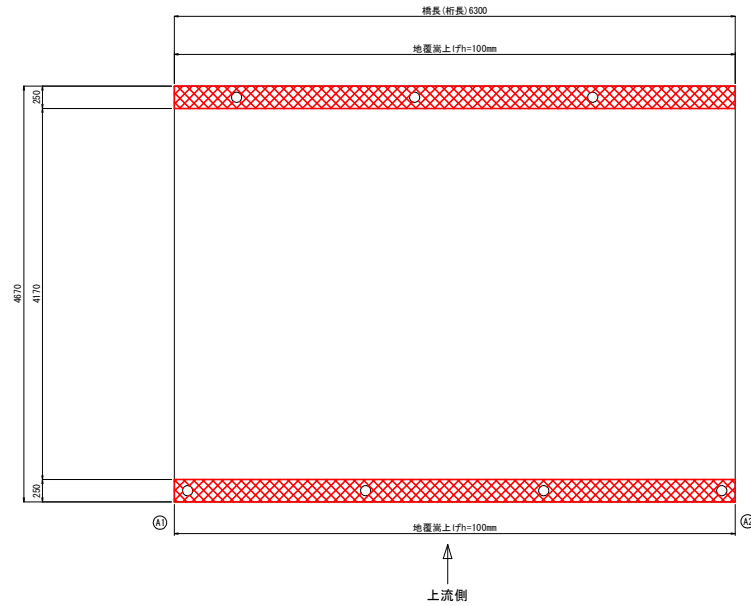
※明細は、数量計算書を参照のこと。  
※施工にあたっては現地再測のこと。

工事名	鋸歯橋梁補修工事		
図面名	鋸歯橋 防護柵補修工図		
作成年月日	令和 5年 2月		
縮尺	図示	図面番号	9 / 23
会社名			
事業者名	福岡県 みやこ町 都市整備課		

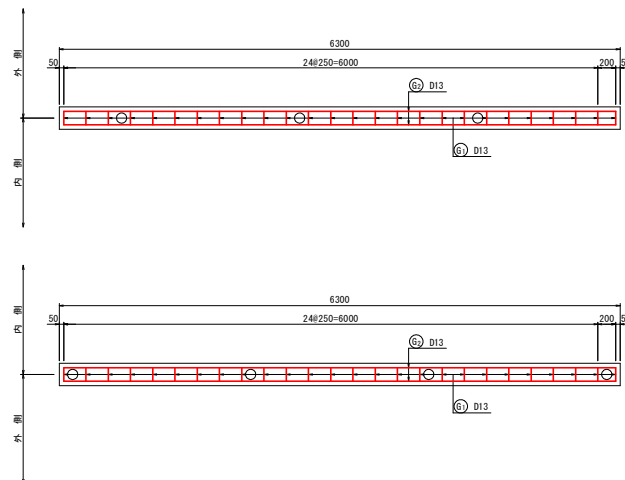
燈畑橋 地覆改良工詳細図

平面图 S=1 : 30

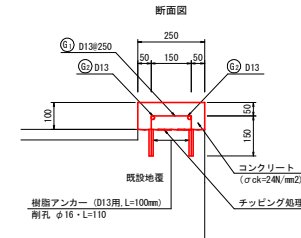
(橋 面)



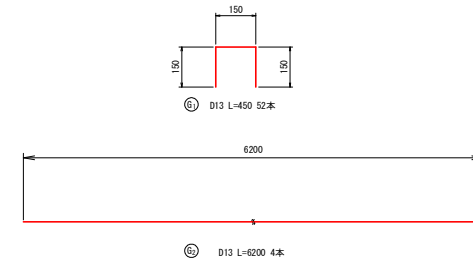
地覆配筋図 S=1 : 30



地覆嵩上げ詳細図 S=1:10



鉄筋加工図 S=1:10



鉄筋表 (地覆嵩上げ)

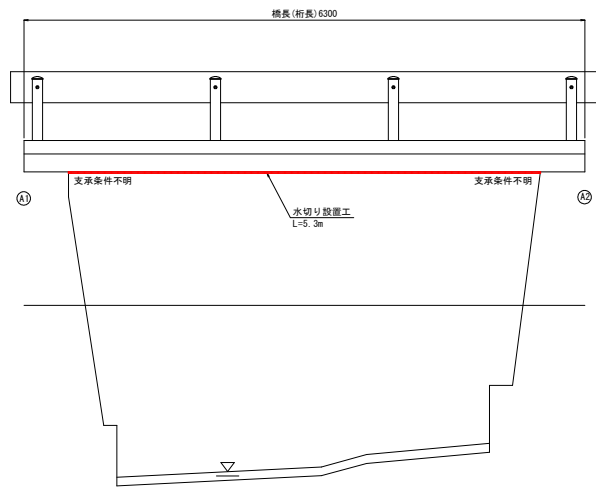
符号 名称	径 (mm)	長さ (mm)	本数 (本)	単位質量 (kg/m)	1本当質量 (kg)	質 量 (kg)	摘 要
G1	D13	450	52	0.995	0.448	23.3	□
G2	D13	6200	4	0.995	6.169	24.7	—
計						48.0	
樹脂アンカー (D13用, L=100mm) 104 個							

※施工にあたっては、現地再測を行い寸法等を精査すること。  
※アンカー削孔にあたっては、鉄筋探査を行い既設鉄筋を切断しないように施工すること。

工事名	銑炬橋橋梁補修工事		
図面名	銑炬橋 地覆改良工詳細図		
作成年月日	令和 5年 2月		
縮尺	図示	図面番号	10/23
会社名			
事業者名	福岡県 みやこ町 都市整備課		

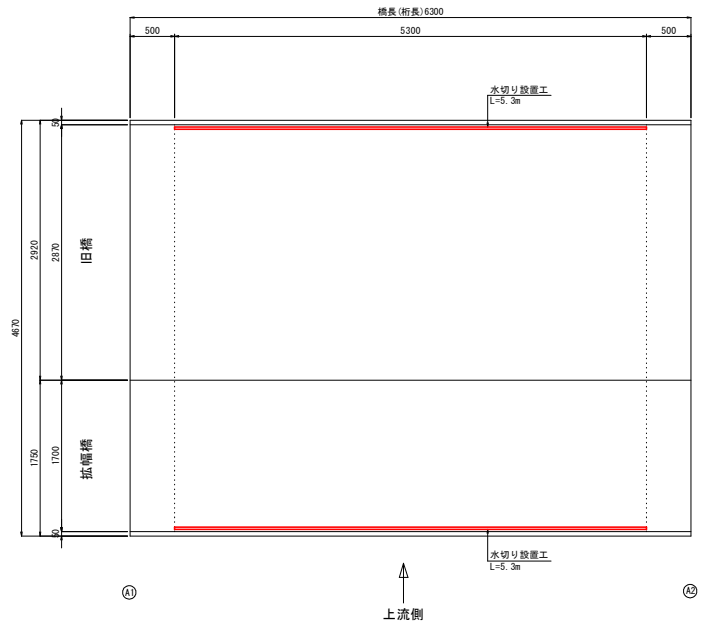
燈畑橋 水切り設置工図

側面図 S=1:30

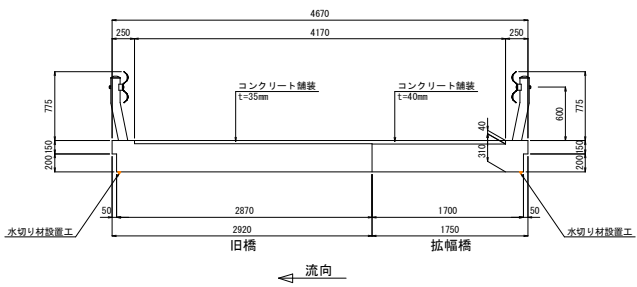


平面図 S=1:30

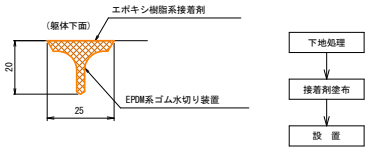
(桁下面)



断面図 S=1:30



水切り装置設置工詳細図  
EPDM系ゴム水切り装置  
(ウォーターカッター)



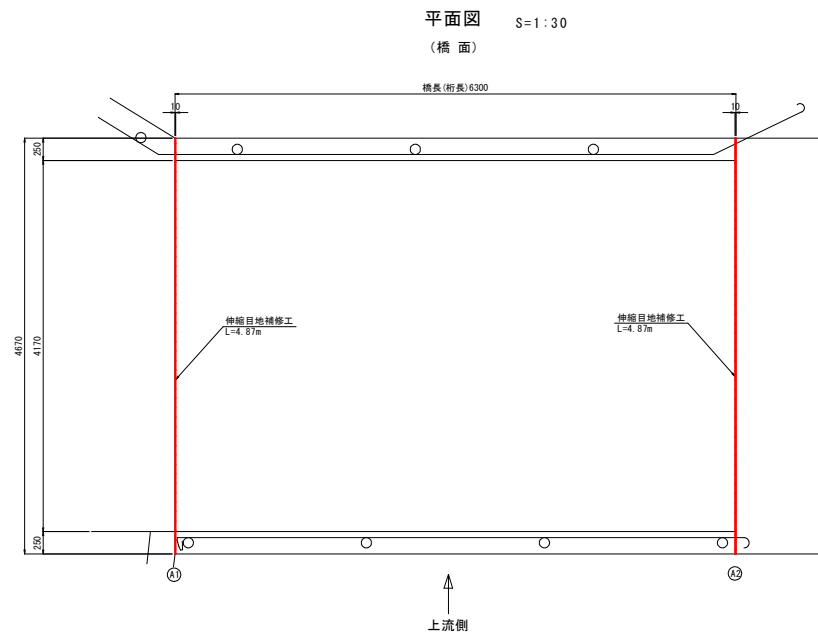
水切り装置設置工数量表

設置箇所	延長 (m)	合計 (m)
主桁下面 (左側)	5.30	10.60
主桁下面 (右側)	5.30	

※施工にあたっては現地再測のこと。

工事名	燈畑橋橋梁補修工事		
図面名	燈畑橋 水切り設置工図		
作成年月日	令和 5 年 2 月		
縮尺	図示	図面番号	11/23
会社名			
事業者名	福岡県 みやこ町 都市整備課		

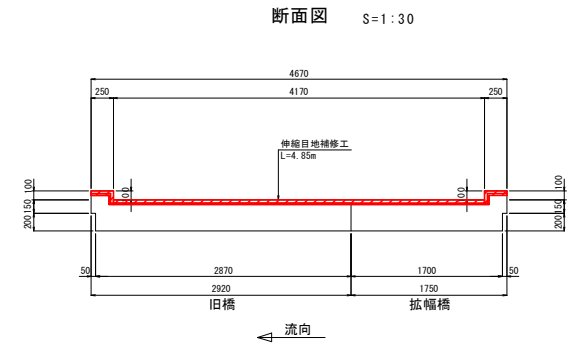
燈畑橋 伸縮装置補修工（目地補修）図



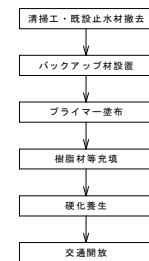
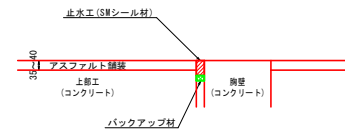
伸縮目地補修工数量表

名 称	仕 様	単 位	数 量	備 考
止水工	ゴム劣化取替工法	m	9.7	

※施工にあたっては現地再測のこと。

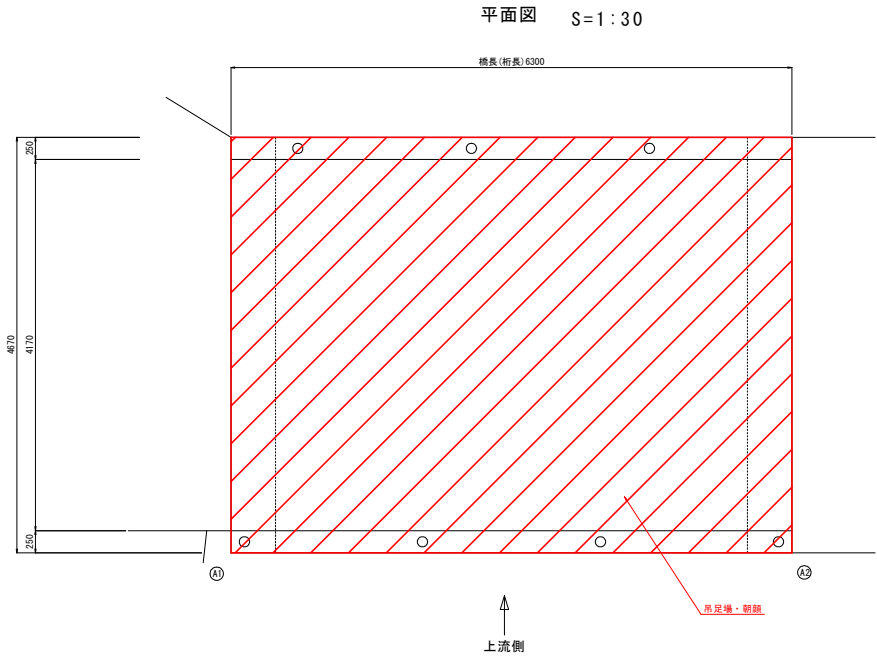
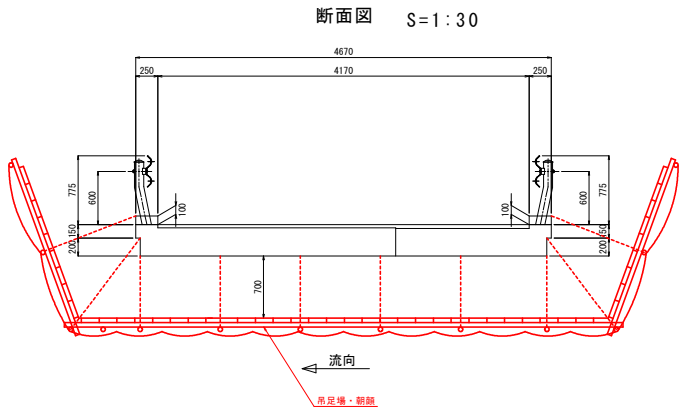
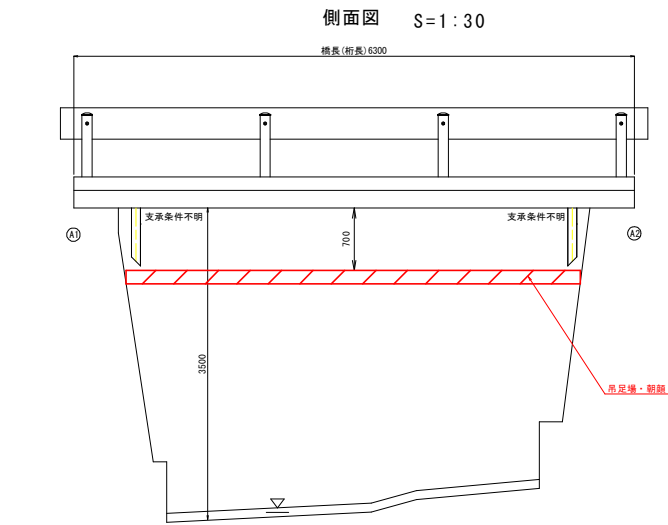


止水工  
(ゴム劣化取替工法)



工事名	燈畑橋橋梁補修工事		
図面名	燈畑橋 伸縮装置補修工（目地補修）図		
作成年月日	令和 5 年 2 月		
縮尺	図示	図面番号	1 2 / 2 3
会社名			
事業者名	福岡県 みやこ町 都市整備課		

銚子橋 仮設参考図



仮設工数量表

名 称	単位	数 量	備 考
吊足場工	m2	29.4	
朝顔 (両側)	m2	29.4	
板橋防護工	m2	29.4	
シート張防護工	m2	29.4	

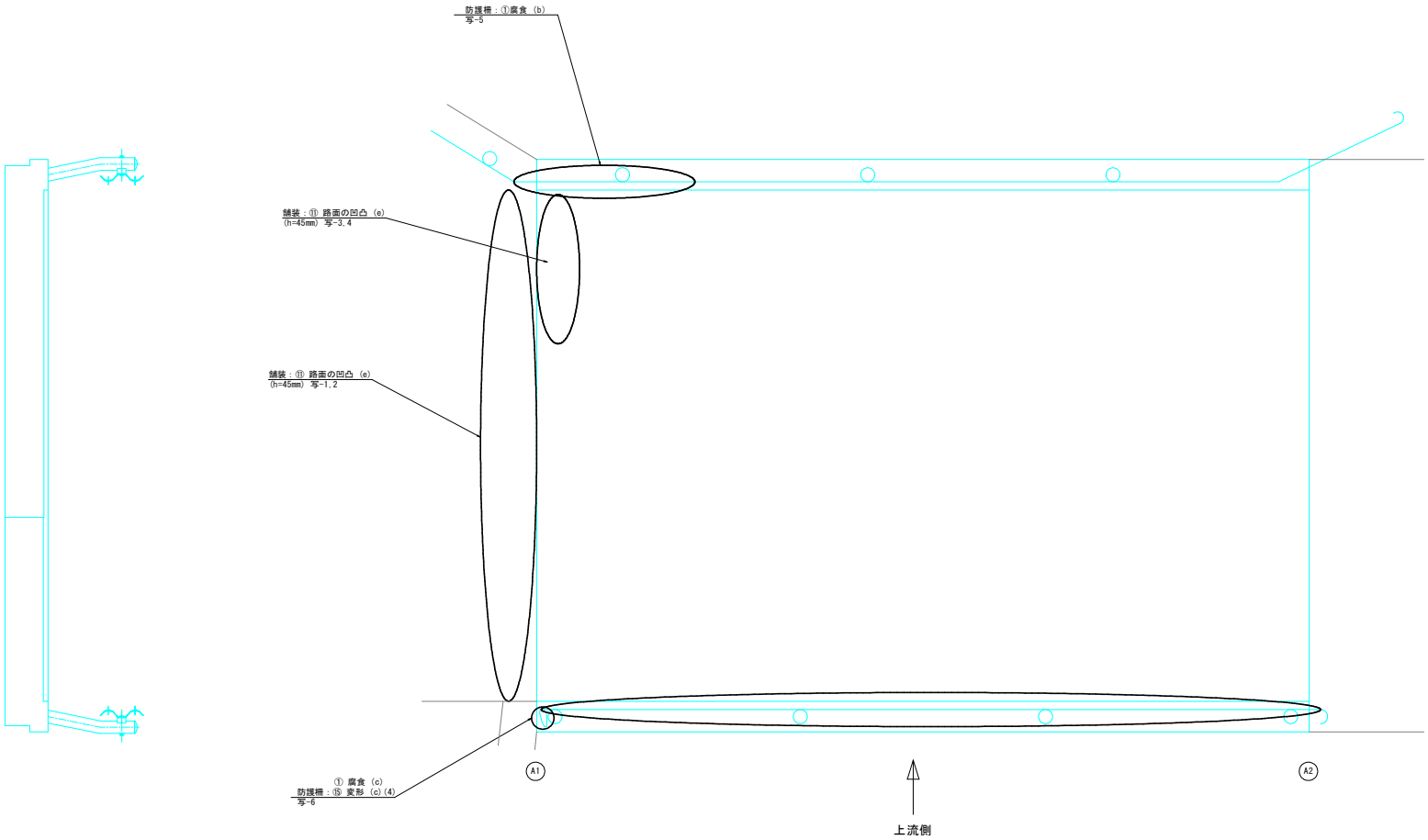
※仮設足場の施工の際は、事前に関係機関との協議を行うこと。  
※詳細は安全性・施工性に考慮して関係機関協議により決定すること。  
※現状、排水管設置に際し、影響がない高さを確保する参考図とする。  
※現地計測の上、施工を行うこと。

工事名	銚子橋橋梁補修工事		
図面名	銚子橋 仮設参考図		
作成年月日	令和 5 年 2 月		
縮尺	図示	図面番号	1 3 / 2 3
会社名			
事業者名	福岡県 みやこ町 都市整備課		

燈畑橋 損傷図（その1）

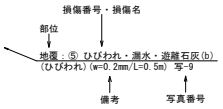
平 面 図 S=1:20

橋 面



損傷凡例

損傷の種類	表 示
0.2mm未満	
0.2～0.5mm未満	
0.5mm以上	
1.0mm以上	
剥 離	
鉄筋露出	
遊離石灰	
豆板・空洞	
う き	
漏 水	
変 色・劣 化	
そ の 他	



□ は、ひびわれ番号 (w=0.2mm以上)

△ は、断面修復を要する損傷番号

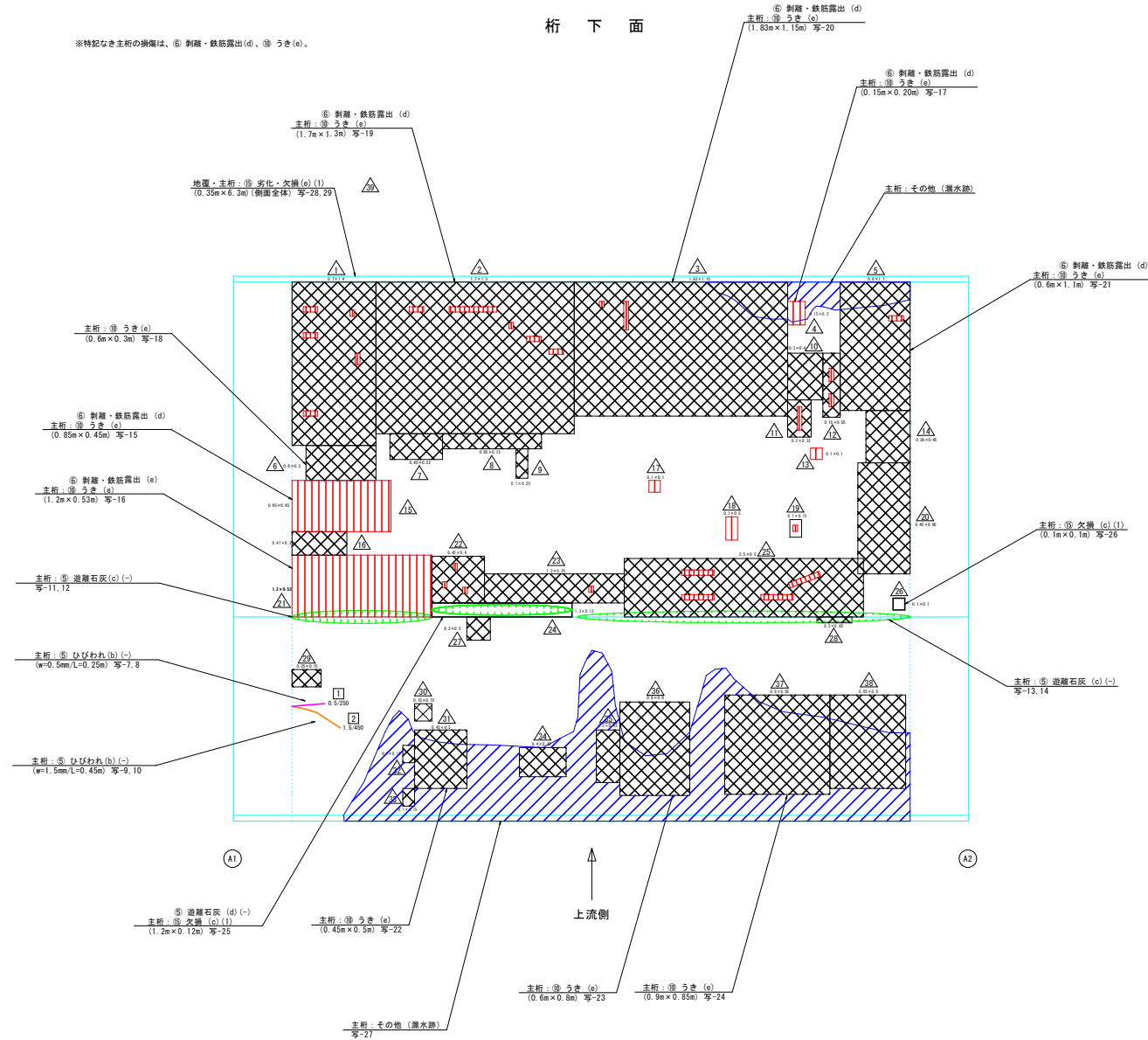
工事名	燈畑橋橋梁補修工事		
図面名	燈畑橋 損傷図 (その1)		
作成年月日	令和 5年 2月		
縮尺	図示	図面番号	14/23
会社名			
事業者名	福岡県 みやこ町 都市整備課		

燈畑橋 損傷図（その2）

平面图 S=1:20

析 下 面

※特記なき主桁の損傷は、⑥ 剝離・鉄筋露出(d)、⑪ うき(e)。



損傷の種類		表 示
ひび われ	0.2mm未満	
	0.2～0.5mm 未満	
	0.5mm以上	
	1.0mm以上	
剥 離		
鉄筋露出		
遊離石灰		
豆板・空洞		
う き		
漏 水		
変色・劣化		
そ の 他		

損傷番号・損傷名

↓  
部位

地覆：⑤ ひびわれ・漏水・遊離石灰(b)

(ひびわれ) ( $w=0.2\text{mm}/L=0.5\text{m}$ )      写-9

↑  
備考

↑  
写真番号

① は、ひびわれ番号 (w=0.2mm以上)

△ は、断面修復を要する損傷番号

工事名	鍛冶橋模梁補修工事		
図面名	鍛冶橋 損傷図（その2）		
作成年月日	令和 5年 2月		
縮尺	図示	図面番号	15/23
会社名			
事業者名	福岡県 みやこ町 都市整備課		

銚子橋 損傷図（その3）

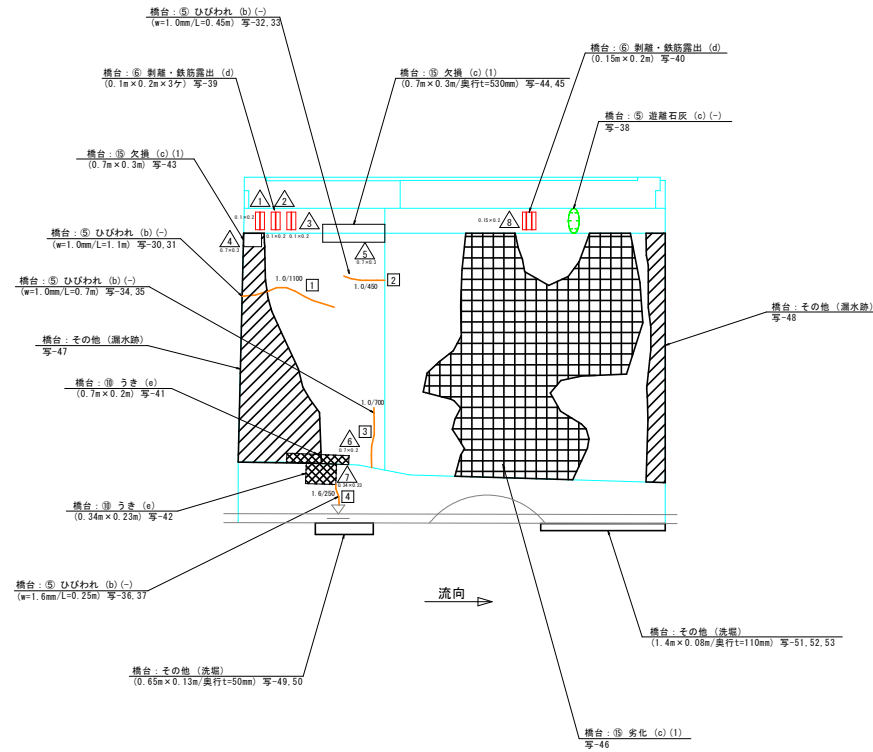
正面図、平面図 S=1:30

A1橋台

正面

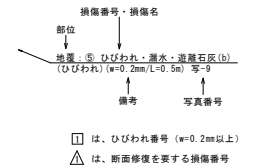
側面図  
起点より右側

側面図  
起点より左側



※A1橋台（拡幅部）に関して、拡幅積のうきが広範囲で確認された。  
損傷原因としては、拡幅時の施工不良によるものと考えられる。  
本図は無損構造物であることから、構造的な影響は少ないと判断し  
特記事項として記載することとする。

損傷凡例	
損傷の種類	表 示
ひびわれ	0.2mm未満
	0.2～0.5mm未満
	0.5mm以上
	1.0mm以上
剥離	
鉄筋露出	
遊離石灰	
豆板・空洞	
うき	
漏水	
変色・劣化	
その他	



工事名	銚子橋橋梁補修工事		
図面名	銚子橋 損傷図（その3）		
作成年月日	令和 5 年 2 月		
縮尺	図示	図面番号	16/23
会社名			
事業名	福岡県 みやこ町 都市整備課		



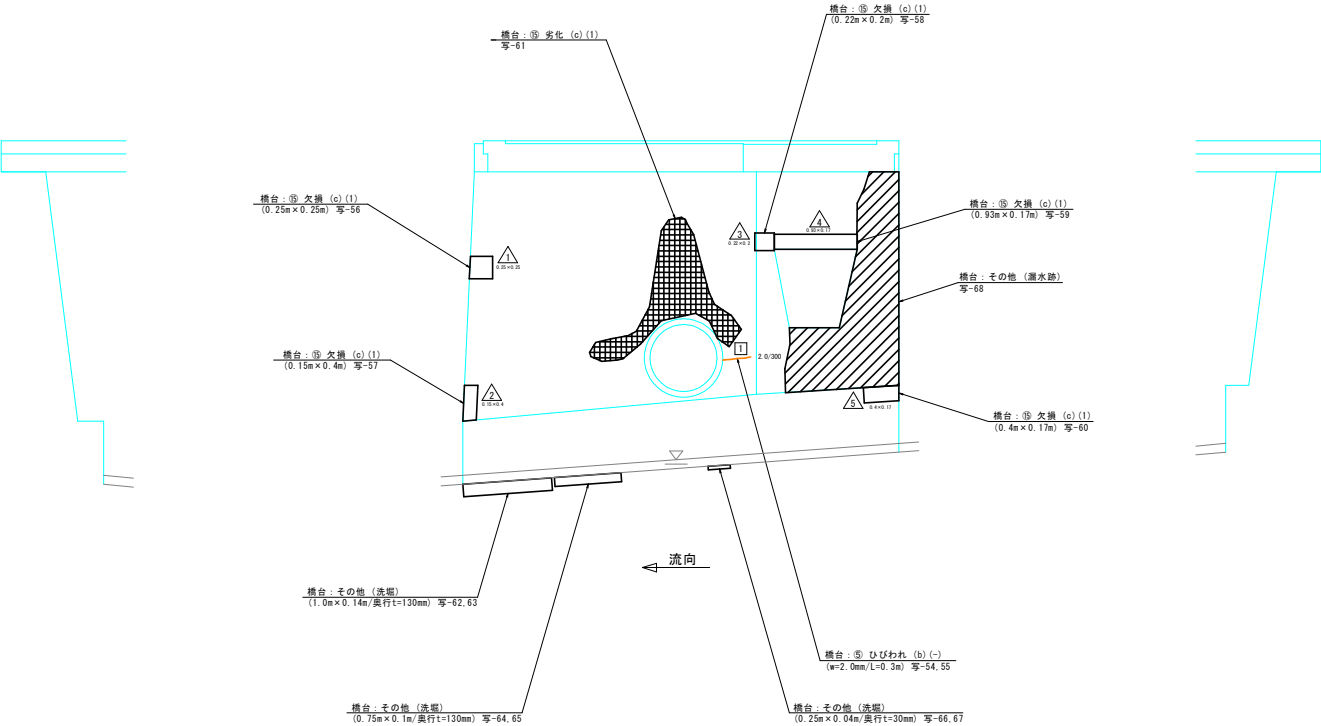
燈畑橋 損傷図（その4）

平 面 図 S=1:30

A 2 橋 台

側面図  
 起点より左側

側面図  
 起点より右側



損傷凡例		
損傷の種類	表 示	
ひびわれ	0.2mm未満	
	0.2～0.5mm未満	
	0.5mm以上	
	1.0mm以上	
剥離		
鉄筋露出		
遊離石灰		
豆板・空洞		
うき		
漏水		
変色・劣化		
その他		

損傷番号・損傷名  
 部位 ↓  
 橋台⑤ひびわれ・漏水・遊離石灰(b)  
 (ひびわれ) (w=0.2mm/L=0.5m) 写-9  
 ↑ 備考 ↑ 写真番号  
 □ は、ひびわれ番号 (w=0.2mm以上)  
 △ は、断面修復を要する損傷番号

工事名	燈畑橋橋梁補修工事		
図面名	燈畑橋 損傷図（その4）		
作成年月日	令和 5 年 2 月		
縮尺	図示	図面番号	17/23
会社名			
事業者名	福岡県 みやこ町 都市整備課		

燈畑橋 損傷図（その5）

（ 損 傷 集 計 表 ）

（ 桁 下 面 ）

ひびわれ集計表

番号	0.2mm～0.5mm未満		0.5mm～1.0mm未満		1.0mm以上	
	巾 (mm)	延長 (mm)	巾 (mm)	延長 (mm)	巾 (mm)	延長 (mm)
1	—	—	0.50	250	—	—
2	—	—	—	—	1.50	450
合計	—	—	—	0.25m	—	0.45m

断面修復を要する損傷集計表

番号	寸法 (m)	面積 (㎡)	損傷
1	0.70 × 1.40	0.980	うき・鉄筋露出
2	1.70 × 1.30	2.210	うき・鉄筋露出
3	1.83 × 1.15	2.105	うき・鉄筋露出
4	0.15 × 0.20	0.030	鉄筋露出・うき
5	0.60 × 1.10	0.660	うき・鉄筋露出
6	0.60 × 0.30	0.180	うき
7	0.45 × 0.22	0.099	うき
8	0.85 × 0.13	0.111	うき
9	0.10 × 0.25	0.025	うき・鉄筋露出
10	0.30 × 0.40	0.120	うき
11	0.20 × 0.32	0.064	うき・鉄筋露出
12	0.15 × 0.55	0.083	うき・鉄筋露出
13	0.10 × 0.10	0.010	鉄筋露出
14	0.38 × 0.45	0.171	うき
15	0.85 × 0.45	0.383	鉄筋露出・うき
16	0.47 × 0.20	0.094	うき・鉄筋露出
17	0.10 × 0.10	0.010	鉄筋露出・うき
18	0.10 × 0.20	0.020	鉄筋露出・うき
19	0.10 × 0.15	0.015	鉄筋露出・うき
20	0.45 × 0.95	0.428	うき・鉄筋露出
21	1.20 × 0.53	0.636	鉄筋露出・うき
22	0.45 × 0.40	0.180	うき・鉄筋露出
23	1.20 × 0.25	0.300	うき・鉄筋露出
24	1.20 × 0.12	0.144	欠損
25	2.50 × 0.50	1.250	うき・鉄筋露出
26	0.10 × 0.10	0.010	欠損
27	0.20 × 0.20	0.040	うき
28	0.30 × 0.05	0.015	うき
29	0.25 × 0.15	0.038	うき
30	0.15 × 0.15	0.023	うき
31	0.45 × 0.50	0.225	うき
32	0.10 × 0.15	0.015	うき
33	0.10 × 0.15	0.015	うき
34	0.40 × 0.25	0.100	うき
35	0.20 × 0.45	0.090	うき
36	0.60 × 0.80	0.480	うき
37	0.90 × 0.85	0.765	うき
38	0.65 × 0.80	0.520	うき
39	0.35 × 6.30	2.205	劣化・欠損
合計		14.846	

（ A1 橋 台 ）

ひびわれ集計表

番号	0.2mm～0.5mm未満		0.5mm～1.0mm未満		1.0mm以上	
	巾 (mm)	延長 (mm)	巾 (mm)	延長 (mm)	巾 (mm)	延長 (mm)
1	—	—	—	—	1.00	1100
2	—	—	—	—	1.00	400
3	—	—	—	—	1.00	700
4	—	—	—	—	1.60	250
合計	—	—	—	—	—	2.50m

断面修復を要する損傷集計表

番号	寸法 (m)	面積 (㎡)	損傷
1	0.10 × 0.20	0.020	鉄筋露出
2	0.10 × 0.20	0.020	鉄筋露出
3	0.10 × 0.20	0.020	鉄筋露出
4	0.70 × 0.30	0.210	欠損
5	0.70 × 0.30	0.210	欠損
6	0.70 × 0.20	0.140	うき
7	0.34 × 0.23	0.078	うき
8	0.15 × 0.20	0.030	鉄筋露出
合計		0.728㎡	

（ A2 橋 台 ）

ひびわれ集計表

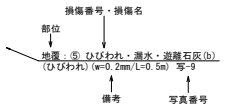
番号	0.2mm～0.5mm未満		0.5mm～1.0mm未満		1.0mm以上	
	巾 (mm)	延長 (mm)	巾 (mm)	延長 (mm)	巾 (mm)	延長 (mm)
1	—	—	—	—	2.00	300
合計	—	—	—	—	—	0.30m

断面修復を要する損傷集計表

番号	寸法 (m)	面積 (㎡)	損傷
1	0.25 × 0.25	0.063	欠損
2	0.15 × 0.40	0.060	欠損
3	0.22 × 0.20	0.044	欠損
4	0.93 × 0.17	0.158	欠損
5	0.40 × 0.17	0.068	欠損
合計		0.393㎡	

損傷凡例

損傷の種類	表 示
0.2mm未満	
0.2～0.5mm未満	
0.5mm以上	
1.0mm以上	
剥 離	
鉄 筋 露 出	
遊 離 石 灰	
豆 板・空 洞	
う き	
漏 水	
変 色・劣 化	
そ の 他	



□ は、ひびわれ番号 (w=0.2mm以上)

△ は、断面修復を要する損傷番号

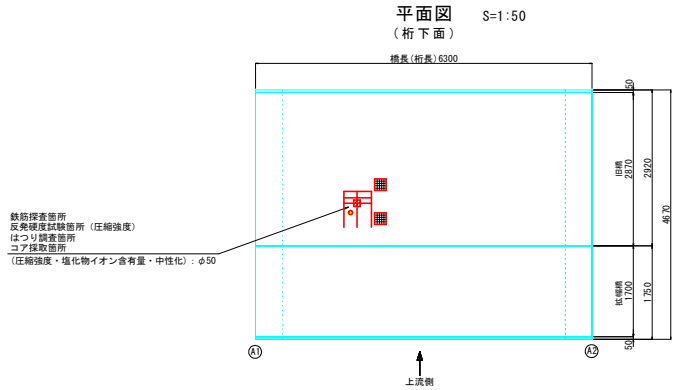
工事名	燈畑橋橋梁補修工事		
図面名	燈畑橋 損傷図（その5）		
作成年月日	令和 5年 2月		
縮尺	図示	図面番号	18/23
会社名			
事業者名	福岡県 みやこ町 都市整備課		

銚子橋 調査位置図（その1）

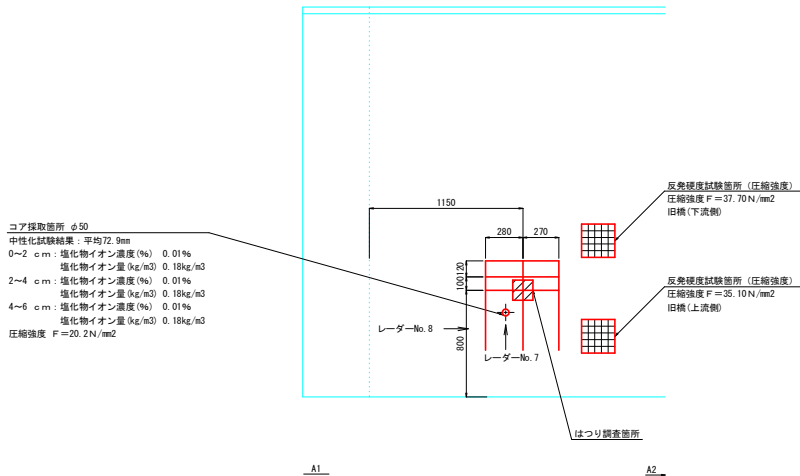
上部工

凡 例

	鉄筋探索箇所
	反発硬度試験箇所
	コア採取箇所
	はつり調査箇所



平面図 S=1:20  
中実床版 (旧橋)

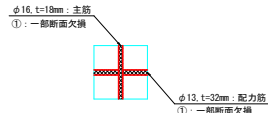


鉄筋レーダー算出値

中実床版 (旧橋) レーダーNo. 7				中実床版 (旧橋) レーダーNo. 8			
ID	1	2	3	ID	1	2	3
距離 (mm)	480	360	360	距離 (mm)	1710	440	180
深さ (mm)	18	17	20	深さ (mm)	29	34	33
ピッチ (mm)	0	120	100	ピッチ (mm)	0	270	280
マーカ数 3				マーカ数 3			
平均	深さ	ピッチ		平均	深さ	ピッチ	
最小	17mm	100.0mm		最小	29mm	270.0mm	
最大	20mm	120.0mm		最大	34mm	280.0mm	

はつり調査箇所詳細図 S=1:10

中実床版 (旧橋)



鉄筋径、かぶり厚表

調査箇所	鉄筋部位	鉄筋径	はつり箇所純かぶり (mm)	腐食状況	中性化状況
中実床版 (旧橋)	主筋	φ16	18	① : 一部断面欠損	平均48.0mm
	配力筋	φ13	32	① : 一部断面欠損	平均48.0mm

中性化深さ試験結果

調査実施年： 2022年  
竣工年度： 1965年  
経過年数 t： 57年

採用数値 ※調査地域は中性化残り余年数を10mmまでとして算出する。  
※調査地域及び塩分を含むコンクリートは中性化残り余年数を20mmまでとして算出する。

調査箇所	測点番号	中性化深さ (mm)	平均中性化深さ y (mm)	中性化速度係数 b (mm/√年)	かぶり平均 (mm)	中性化残り10mmまでの余年数	備考
中実床版 (旧橋) コア法	①	70	72.9	9.65584	18	-56	56年前に中性化残り10mmまで到達している。
	②	75					
	③	77					
	④	79					
	⑤	81					
	⑥	67					
	⑦	69					
	⑧	65					

・中性化による劣化予測算出は『2018年 コンクリート標準示方書「維持管理編」5.3.3.2土木学会』に示された√t 則により算出した。

$$y = b \sqrt{t}$$

ここに、  
y : 中性化深さ (mm)  
t : 中性化期間 (年) ・ ・ ・ 供用年とした。  
b : 中性化速度係数 (mm/√t)

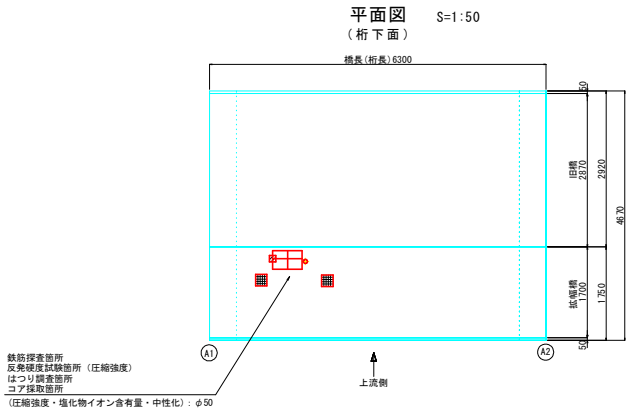
工事名	銚子橋橋梁補修工事		
図面名	銚子橋 調査位置図 (その1)		
作成年月日	令和 5年 2月		
縮尺	図示	図面番号	19/23
会社名			
事業者名	福岡県 みやこ町 都市整備課		

燈焔橋 調査位置図（その2）

上部工

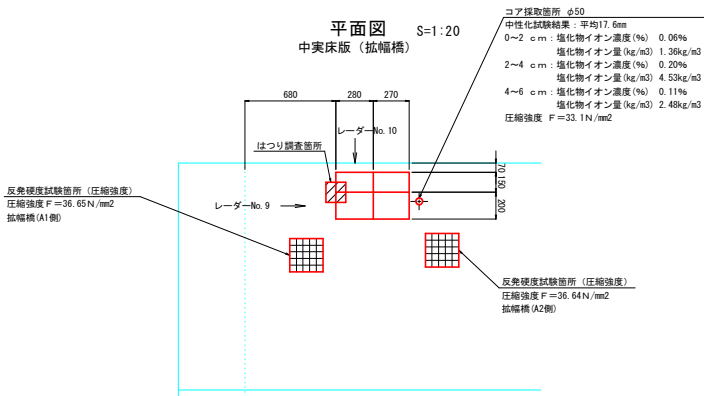
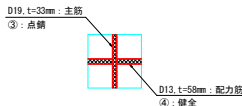
凡 例

	鉄筋探索箇所
	反発硬度測定箇所
	コア採取箇所
	はつり調査箇所



はつり調査箇所詳細図 S=1:10

中実床版(拡幅橋)



鉄筋径、かぶり厚表

調査箇所	鉄筋部位	鉄筋径	はつり箇所純かぶり (mm)	腐食状況	中性化状況
中実床版 (拡幅橋)	主筋	D19	33	③ : 点錆	中実化残り 平均21.9mm
	配筋筋	D13	58	④ : 健全	平均21.9mm

中性化深さ試験結果

調査実施年 : 2022年  
竣工年度 : 1965年  
経過年数 t : 57年

採用数値 ※通常地域は中性化残り余年数を10mmまでとして算出する。  
※塩害地域及び塩分を含むコンクリートは中性化残り余年数を20mmまでとして算出する。

調査箇所	測点番号	中性化 深さ (mm)	平均中性化 深さ y (mm)	中性化速度係数 b (mm/√年)	かぶり 平均 (mm)	中性化残り 20mmまでの余年数	備考
中実床版(拡幅橋) コア法	①	20	17.6	2.33118	39	9	
	②	19					
	③	17					
	④	16					
	⑤	16					
	⑥	15					
	⑦	18					
	⑧	15					
	⑨	20					

・中性化による劣化予測算出は『2018年 コンクリート標準示方書「維持管理編」5.3.3.2土木学会』に  
示された√t 則により算出した。

$$y = b \sqrt{t}$$

ここに、  
y : 中性化深さ (mm)  
t : 中性化期間 (年) ・ ・ ・ 供用年とした。  
b : 中性化速度係数 (mm/√t)

鉄筋レーダー算出値

中実床版(拡幅橋)  
レーダーNo. 9

ID	1	2	3
距離 (mm)	640	430	720
深さ (mm)	63	62	64
ピッチ (mm)	0	210	200

マーカ数

マーカ数	3
深さ	ピッチ
平均	200.0mm
最小	150.0mm
最大	210.0mm

中実床版(拡幅橋)  
レーダーNo. 10

ID	1	2	3
距離 (mm)	420	620	70
深さ (mm)	45	35	38
ピッチ (mm)	0	200	1150

マーカ数

マーカ数	3
深さ	ピッチ
平均	175.0mm
最小	150.0mm
最大	200.0mm

工事名	燈焔橋橋梁補修工事		
図面名	燈焔橋 調査位置図 (その2)		
作成年月日	令和 5 年 2 月		
縮尺	図示	図面番号	20/23
会社名			
事業者名	福岡県 みやこ町 都市整備課		

燈畑橋 調査位置図（その3）

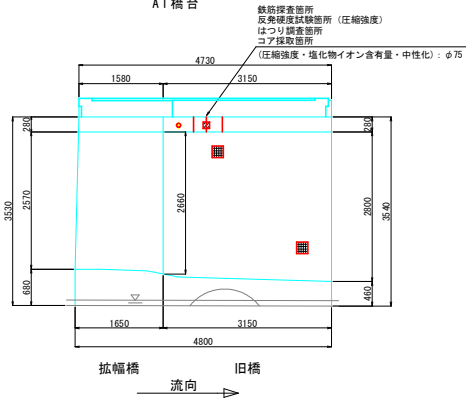
下部工

凡 例

	鉄筋探索箇所
	反発硬度測定箇所
	コア採取箇所
	はつり調査箇所

正面図  
A1橋台

S=1:50



はつり調査箇所詳細図

S=1:10

A1橋台(旧橋)

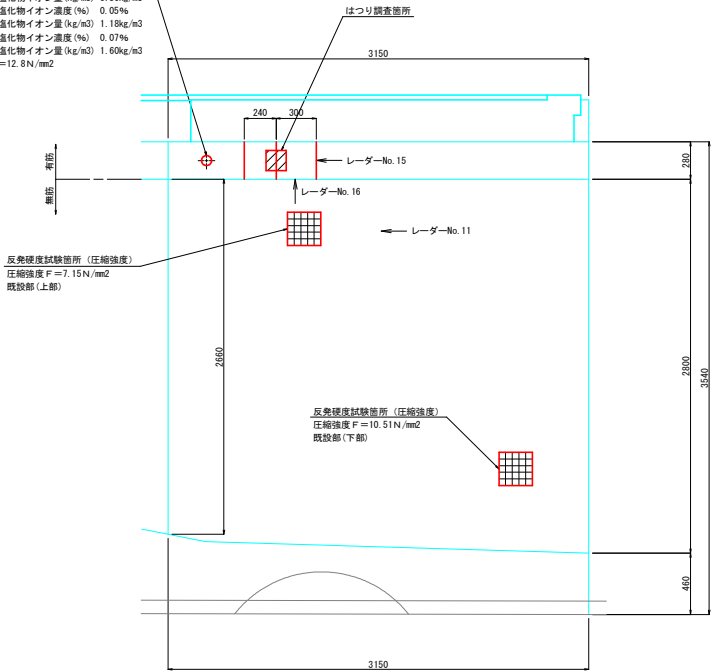
φ13, t=50mm: 主筋  
②: 表面筋



コア採取箇所 φ75  
 中性化試験結果: 平均25.6mm  
 0~2cm: 塩化物イオン濃度(%) 0.02%  
 塩化物イオン量(kg/m<sup>3</sup>) 0.50kg/m<sup>3</sup>  
 2~4cm: 塩化物イオン濃度(%) 0.05%  
 塩化物イオン量(kg/m<sup>3</sup>) 1.19kg/m<sup>3</sup>  
 4~6cm: 塩化物イオン濃度(%) 0.07%  
 塩化物イオン量(kg/m<sup>3</sup>) 1.60kg/m<sup>3</sup>  
 圧縮強度 F=12.8N/mm<sup>2</sup>

正面図  
A1橋台(旧橋)

S=1:20



鉄筋径、かぶり厚表

調査箇所	鉄筋部位	鉄筋径	はつり箇所純かぶり (mm)	腐食状況	中性化状況
A1橋台(旧橋)	主筋	φ13	50	②: 表面錆	平均60.0mm

中性化深さ試験結果

調査実施年: 2022年  
 竣工年度: 1965年  
 経過年数 t: 57年

採用数値 ※通常地域は中性化残り余年数を10mmまでとして算出する。  
 ※塩害地域及び塩分を含むコンクリートは中性化残り余年数を20mmまでとして算出する。

調査箇所	測点番号	中性化深さ (mm)	平均中性化深さ y (mm)	中性化速度係数 b (mm/√年)	かぶり厚 (mm)	中性化残り20mmまでの余年数	備考
A1橋台(旧橋) コア法	①	12	25.6	3.39080	53	38	
	②	20					
	③	29					
	④	35					
	⑤	40					
	⑥	38					
	⑦	22					
	⑧	13					

・中性化による劣化予測算出は『2018年 コンクリート標準示方書「維持管理編」5.3.3.2土木学会』に示された√t 則により算出した。

$$y = b \sqrt{t}$$

ここに、  
 y : 中性化深さ (mm)  
 t : 中性化期間 (年) ・ ・ ・ 供用年とした。  
 b : 中性化速度係数 (mm/√t)

鉄筋レーダー算出値

A1橋台(上部) レーダーNo.15				A1橋台(上部) レーダーNo.16				A1橋台(下部) レーダーNo.11			
ID	1	2	3	ID	1	2	3	ID	1	2	3
距離 (mm)	540	300	0	距離 (mm)	無筋	無筋	無筋	距離 (mm)	無筋	無筋	無筋
深さ (mm)	53	49	58	深さ (mm)	無筋	無筋	無筋	深さ (mm)	無筋	無筋	無筋
ピッチ (mm)	0	240	300	ピッチ (mm)	無筋	無筋	無筋	ピッチ (mm)	無筋	無筋	無筋
マーカ数	3			マーカ数	0			マーカ数	0		
平均	25mm	270.0mm		平均	無筋	無筋	無筋	平均	無筋	無筋	無筋
最小	40mm	240.0mm		最小	無筋	無筋	無筋	最小	無筋	無筋	無筋
最大	58mm	300.0mm		最大	無筋	無筋	無筋	最大	無筋	無筋	無筋

工事名	燈畑橋橋梁補修工事		
図面名	燈畑橋 調査位置図 (その3)		
作成年月日	令和 5 年 2 月		
縮尺	図示	図面番号	2.1/2.3
会社名			
事業者名	福岡県 みやこ町 都市整備課		

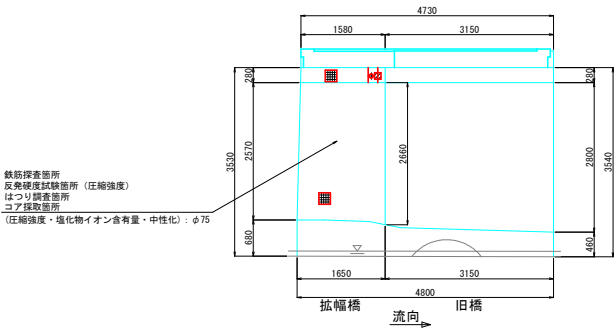
燈畑橋 調査位置図（その4）

下部工

凡 例

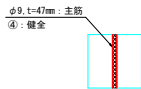
	鉄筋探索箇所
	反発硬度測定箇所
	コア採取箇所
	はつり調査箇所

正面図 S=1:50  
A1橋台

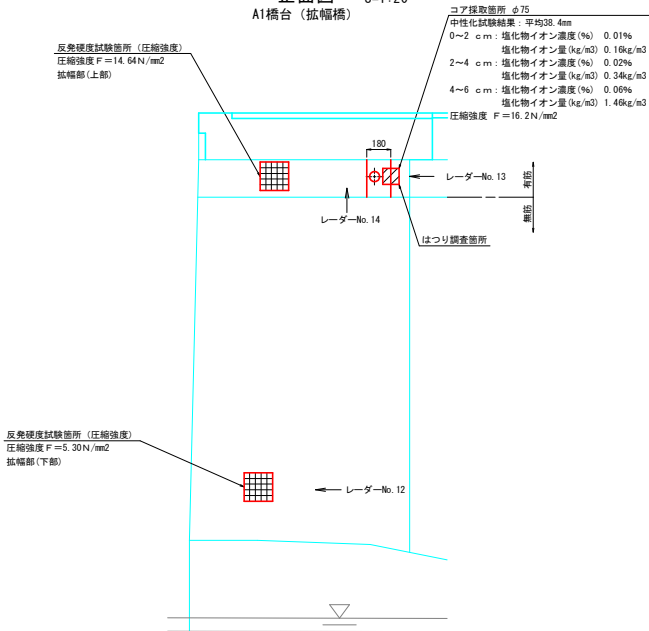


はつり調査箇所詳細図 S=1:10

A1橋台(拡幅橋)



正面図 S=1:20  
A1橋台(拡幅橋)



鉄筋径、かぶり厚表

調査箇所	鉄筋部位	鉄筋径	はつり箇所純かぶり (mm)	腐食状況	中性化状況
A1橋台 (拡幅橋)	主筋	φ9	47	④：健全	平均38.6mm

中性化深さ試験結果  
調査実施年： 2022年  
竣工年度： 1965年  
経過年数 t： 57年  
採用数値 ※通常地域は中性化残り余年数を10mmまでとして算出する。  
※塩害地域及び塩分を含むコンクリートは中性化残り余年数を20mmまでとして算出する。

調査箇所	測点番号	中性化 深さ (mm)	平均中性化 深さ y (mm)	中性化速度係数 b (mm/√年)	かぶり 平均 (mm)	中性化残り 20mmまでの余年数	備考
A1橋台(拡幅橋) コア法	①	22	38.4	5.08620	56	-4	7年前に中性化残り 20mmまで到達している。
	②	33					
	③	47					
	④	50					
	⑤	53					
	⑥	44					
	⑦	33					
	⑧	25					

・中性化による劣化予測算出は『2018年 コンクリート標準示方書「維持管理編」5.3.3.2土木学会』に  
示された√t 則により算出した。

$$y = b \sqrt{t}$$

ここに、 y : 中性化深さ (mm)  
t : 中性化期間 (年) ・ ・ ・ 供用年とした。  
b : 中性化速度係数 (mm/√t)

鉄筋レーダー算出値

A1橋台(下部) レーダーNo. 13	A1橋台(下部) レーダーNo. 14	A1橋台(下部) レーダーNo. 12																																				
<table><tr><td>ID</td><td>1</td><td>2</td></tr><tr><td>距離 (mm)</td><td>120</td><td>140</td></tr><tr><td>深さ (mm)</td><td>53</td><td>58</td></tr><tr><td>ピッチ (mm)</td><td>0</td><td>180</td></tr></table>	ID	1	2	距離 (mm)	120	140	深さ (mm)	53	58	ピッチ (mm)	0	180	<table><tr><td>ID</td><td>1</td><td>2</td></tr><tr><td>距離 (mm)</td><td>120</td><td>140</td></tr><tr><td>深さ (mm)</td><td>53</td><td>58</td></tr><tr><td>ピッチ (mm)</td><td>0</td><td>180</td></tr></table>	ID	1	2	距離 (mm)	120	140	深さ (mm)	53	58	ピッチ (mm)	0	180	<table><tr><td>ID</td><td>1</td><td>2</td></tr><tr><td>距離 (mm)</td><td>120</td><td>140</td></tr><tr><td>深さ (mm)</td><td>53</td><td>58</td></tr><tr><td>ピッチ (mm)</td><td>0</td><td>180</td></tr></table>	ID	1	2	距離 (mm)	120	140	深さ (mm)	53	58	ピッチ (mm)	0	180
ID	1	2																																				
距離 (mm)	120	140																																				
深さ (mm)	53	58																																				
ピッチ (mm)	0	180																																				
ID	1	2																																				
距離 (mm)	120	140																																				
深さ (mm)	53	58																																				
ピッチ (mm)	0	180																																				
ID	1	2																																				
距離 (mm)	120	140																																				
深さ (mm)	53	58																																				
ピッチ (mm)	0	180																																				
マーカ数 2	マーカ数 0	マーカ数 0																																				
平均 深さ	平均	平均																																				
最小 5mm	最小	最小																																				
最大 58mm	最大	最大																																				

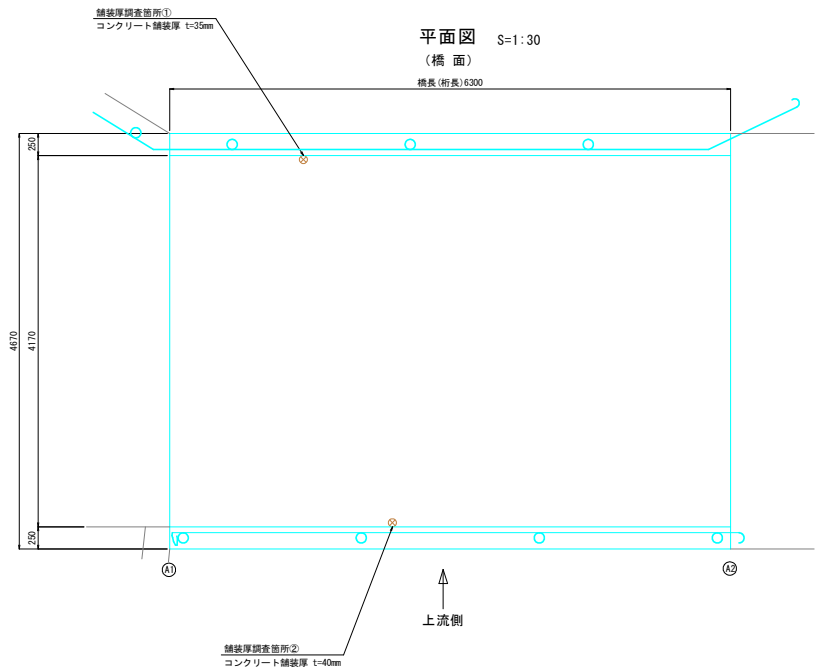
工事名	燈畑橋橋梁補修工事		
図面名	燈畑橋 調査位置図 (その4)		
作成年月日	令和 5年 2月		
縮尺	図示	図面番号	22/23
会社名			
事業者名	福岡県 みやこ町 都市整備課		

燈畑橋 調査位置図（その5）

上部工

凡 例

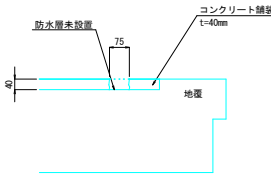
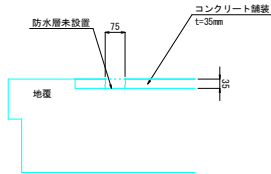
舗装厚調査箇所



はつり調査箇所詳細図 S=1:10

舗装厚調査箇所①  
A1-A2 (旧橋)

舗装厚調査箇所②  
A1-A2 (拡張橋)



工事名	燈畑橋橋梁補修工事		
図面名	燈畑橋 調査位置図（その5）		
作成年月日	令和 5 年 2 月		
縮尺	図示	図面番号	23/23
会社名			
事業者名	福岡県 みやこ町 都市整備課		